

秋田市

社会地域報道部
☎ 018-888-1830
FAX 018-823-1780



の関係者でつくる任意団体「あきた環境懇話会」がこのほど発足した。会員同士の交流を深め、環境の保全や環境教育の推進、関連産業の育成につなげる。

会員約50人。個人のほか、環境コンサルタントなど3団体も名を連ねており、大学や行政の研究に現場の実態を生かす。

5月28日には1回目の情報交換会を秋田市中通のカレッジプラザで開催。県立大生物資源科学部の金田吉弘教授が「秋田の環境の未来展望」と題して約60人を前に講演し、水環境と農業、食生活のつながりを知ることを大切さを強調した。

早ければ11月に2回目の情報交換会を開催する。会員を募集してお

あきた環境懇話会が開催した情報交換会

地域の話題・情報をお寄せください

モリタ「ぶなの森基金」
白神山地保護に募金を役立てて NPOに25万円贈呈

かばんの専門店モリタ(秋田市、盛田良紀社長)は3日、白神山地の保護や環境教育に取り組むNPO法人「白神山地を守る会」(青森市、永めた25万2628円を贈った。)

井雄人代表)に、同社の「白神ぶなの森基金」などで集

秋田山王の本社で開かれ



願っている」と述べ、永井代表は「古くなったヘルメット

永井代表に目録を手渡す盛田社長(右)

た贈呈式で、盛田社長が「子、孫の世代まで白神山地の良い環境が続くことを

や長靴の買い替えに充てた」と話した。「白神ぶなの森基金」は県内外の45店舗に設置した募金箱に1年間に集まった金額と同額をモリタが拠出し、その合計を守る会に贈っている。3年に始まり、今回まで13回の累計額は481万157円。

(本多恒顕)

大町「リレーコンサート」心地いい音色 聴衆うっと

土曜の夜、9月10日

県内の音楽愛好家による野外音楽イベント「トワイライトリレーコンサート」が4日、秋田市大町の商業施設「サン・パティオ大町」で始まった。ギターの弾き語りやポップスバンドなど5組が出演し、味わい深い演奏と情感あ

秋田市の主婦小原明美さん(46)がボーカルを務める5人組ポップスバンド「ちあーず」は、「空も飛べるはず」「赤いスイートピー」など歌謡曲やポップスのナンバー6曲を披露。情緒豊かな演奏に合わせ、小原さんが伸びやかな歌声を響かせた。訪れた人は時折歌詞を口ずさみ聞き入っていた。

コンサートは出演者らでつくる実行委員会(熊合誠会長)が2001年から毎年開催し16年目。

午後6時半〜9時。6月18、25日、7月23、30日、8月6日、9月3日は6時から。入場無料。

(鈴木千明)



県殉職警察職員「功績語り」36人に哀

のほど、秋田市中メトロポリタン秋た。遺族18人を含者ら約50人が参列9〜2002年に整理などの職務の落とした36人を悼小嶋典明(警務本輩の示された功績行動を心の中にと追

児の代表2人に手児は大きな声で「ごさいます」と答式後、園児と保

殉職者36人を悼